

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

パーパス

生命と健康を守る。患者・医師・医療関係者にとって有益な製品・サービスを提供し、最適な医療の普及に貢献する。

自己資本当期純利益率
20%以上

売上高営業利益率
4%以上

2 中長期の経営戦略

1. 利益率・生産性向上

独自製品拡充、自社企画品投入、仕入先との協力関係構築。DX推進による物流・事務の効率化。

3. 事業ポートフォリオ強化

輸入総代理店機能強化、独自製品・自社企画品開発力強化。自動造影剤注入装置「RAQUOSインジェクションシステム」の国内普及に取り組む。

2. 地域的依存度低減

不整脈事業の営業エリア拡大。関東地区への依存度が高い状況から全国展開を目指す。

4. 新規市場開拓

独自製品の海外輸出。不整脈シミュレーター「EPSトレーナー」に加え、「RAQUOSインジェクションシステム」の海外輸出開始を準備。

3 対処すべき課題

① 医療費抑制への対応

- ・診療報酬引き下げと患者負担率改定への対応
- ・医療機器メーカーの直接販売と販売代理店選別への競争対応
- ・医療施設の共同購入による値下げ要請への効率化

② 事業構造の多元化

- ・不整脈分野への売上依存度が高い状況からの脱却
- ・関東地区への地域的依存度の軽減
- ・既存競合企業との合従連衡やシェア競争への対抗

③ 独自製品の育成展開

- ・虚血事業における取扱商品の充実
- ・薬事承認取得と新商品早期販売権の確保
- ・研究開発・マーケティング・営業の組織強化

面接で使えるポイント

- ・医療費抑制下での値下げ要請に対応しながら、効率化やDX推進で収益性確保を目指す姿勢。
- ・不整脈事業で関東地区に依存する状況から全国展開を進め、自社開発製品「RAQUOSインジェクションシステム」の国内外での普…
- ・パーパス「生命と健康を守る」の下、独自製品拡充と多様な人材活用で持続的成長を実現する経営方針。

証券コード 3079

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

1986年の設立以来、循環器疾病分野の医療機器を専門とする医療機器卸売企業

主力事業・セグメント

- ・Arrhythmia 91.9%
- ・Ischemia 8.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
560億円営業利益率
0.5%財務健康度
25点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収

681万円

卸売業内 143位/282社

平均年齢

39.5歳

卸売業内 236位/283社

平均勤続

8.1年

卸売業内 244位/282社

女性管理職

3.2%

卸売業内 159位/209社

男性育休

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース一言

参考: ディーバイエックス[3079]: オルバヘルスケアホールディング

